鎌倉女子大学・短期大学部「卒業生調査」報告

令和7年7月

鎌倉女子大学・短期大学部　就職センター

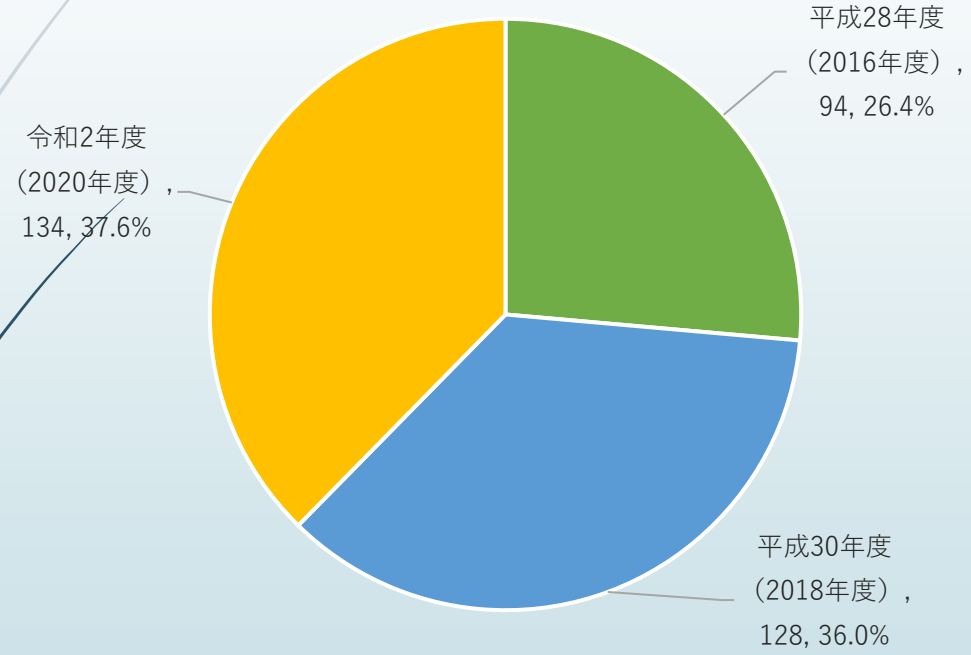
調査概要

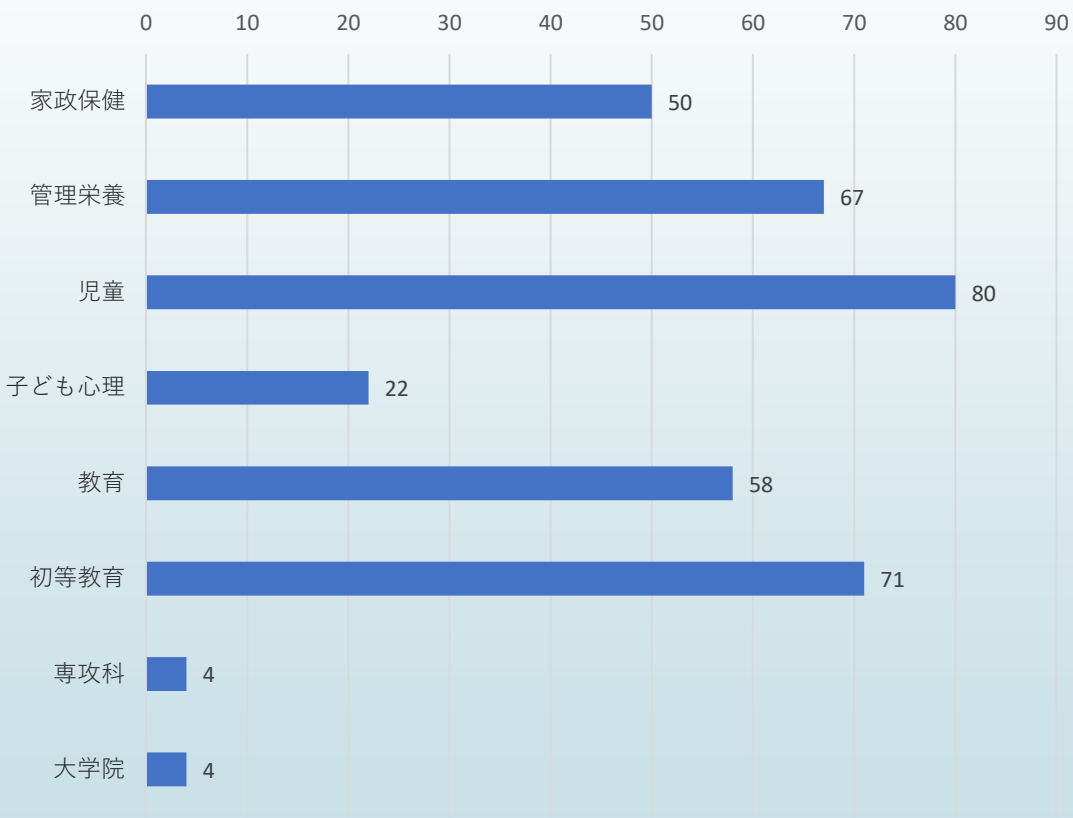
- 調査目的
  - 卒業生の立場からの意見を聴き、本学の就職支援・キャリア形成支援のあり方を検討する。
  - 卒業生が社会人としてどのような能力が求められているかを調査する。
  - 女性の働く環境と、卒業生の働き方・キャリアへの意識を調査する。
- 調査対象
  - 平成28年度（2016年度）、平成30年度（2018年度）、令和2年度（2020年度）に卒業した鎌倉女子大学大学院、鎌倉女子大学、鎌倉女子大学短期大学部の卒業生。
- 調査方法
  - メールでの依頼によるWebアンケート調査。
  - 調査期間は、令和6年8月から11月。
  - メール送信数は2,560件。有効回答数は356件（回答率は13.9%）。

卒業生調査に基づく分析結果の概要

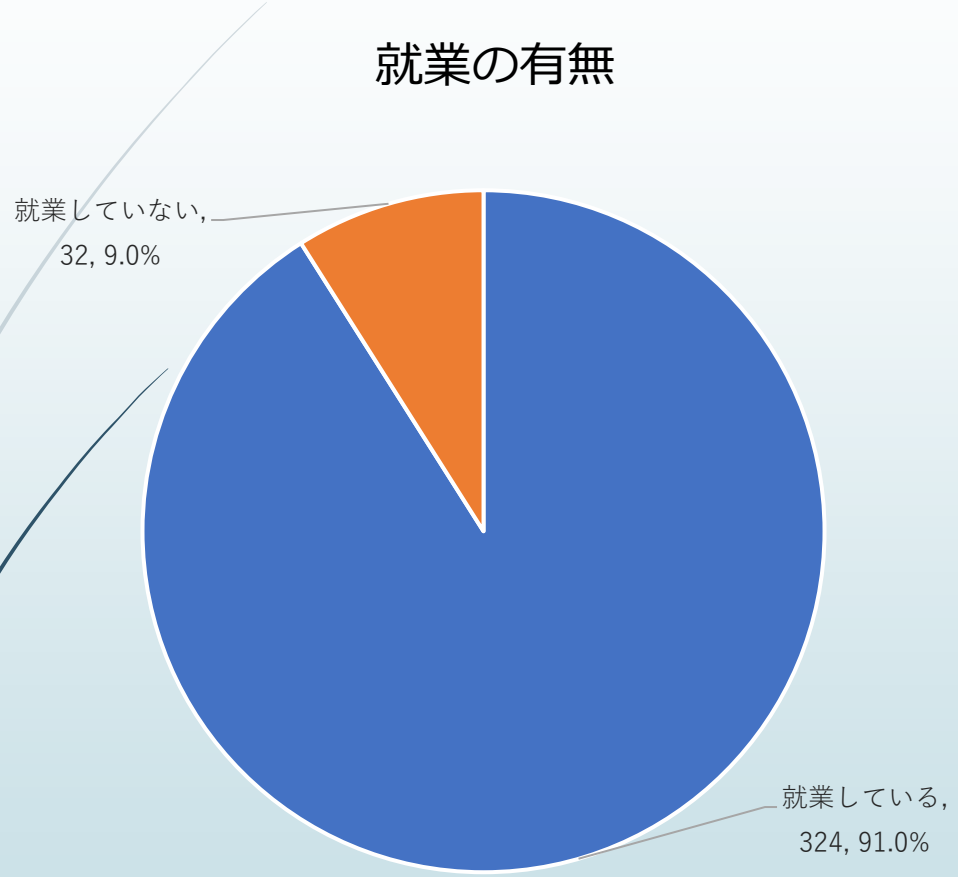
- 本学の学びに「満足している」と回答した卒業生は93.8%、学生生活全般について「満足している」と回答した卒業生は92.4%にのぼり、いずれも高い評価を得た。自由記述では、「カリキュラムの充実」「施設が良い」「学生の雰囲気が良い」「指導・支援体制が充実している」「資格取得に有利」「立地・通学時間が良い」「教職員の対応が親切」「課外活動が充実している」といった点が、本学の魅力として多く挙げられていた。
- 本学卒業生のうち、管理栄養士・栄養士、教員、幼稚園教諭・保育教諭・保育士、企業の総合職に就いた者については、いずれの職種においても、3年未満で新卒就職先を離職した者は2割未満にとどまり、約8割が3年以上継続して勤務しているという結果が得られた。
- 就職支援およびキャリア形成支援については、特に「添削指導・面接指導」に対する評価が高く、学生一人ひとりの性格や特性に応じた、きめ細かな支援体制に対して卒業生から高い満足の声が寄せられた。一方、就職活動を取り巻く環境が大きく変化している中で、働くことで何を得るのか、どのような働き方を求めるのかなどについて、じっくりと考える機会を提供していく必要性も感じられた。また、卒業後の転職に関する相談ニーズも一定数見受けられ、今後の支援体制の整備に活かすべき示唆といえる。
- 社会人として求められる能力についての設問では、「相手の意見を丁寧に聴く力」「ストレスの発生源に対応する力」が、いずれの職種でも9割以上の卒業生から職場で「求められている」と回答された。「ITスキル」については全体で67.0%が「求められている」と回答したが、教員職では95.3%にのぼっており、教育現場においては特にITスキルの必要性が高まっていることが明らかとなった。
- 女性の働く環境は、近年改善されているが、解決されていない問題も多い。また、職種による働く環境の違いも大きいことが見られる。これらの点を考慮して、よりきめ細かい就職支援・キャリア形成支援を進めていきたい。

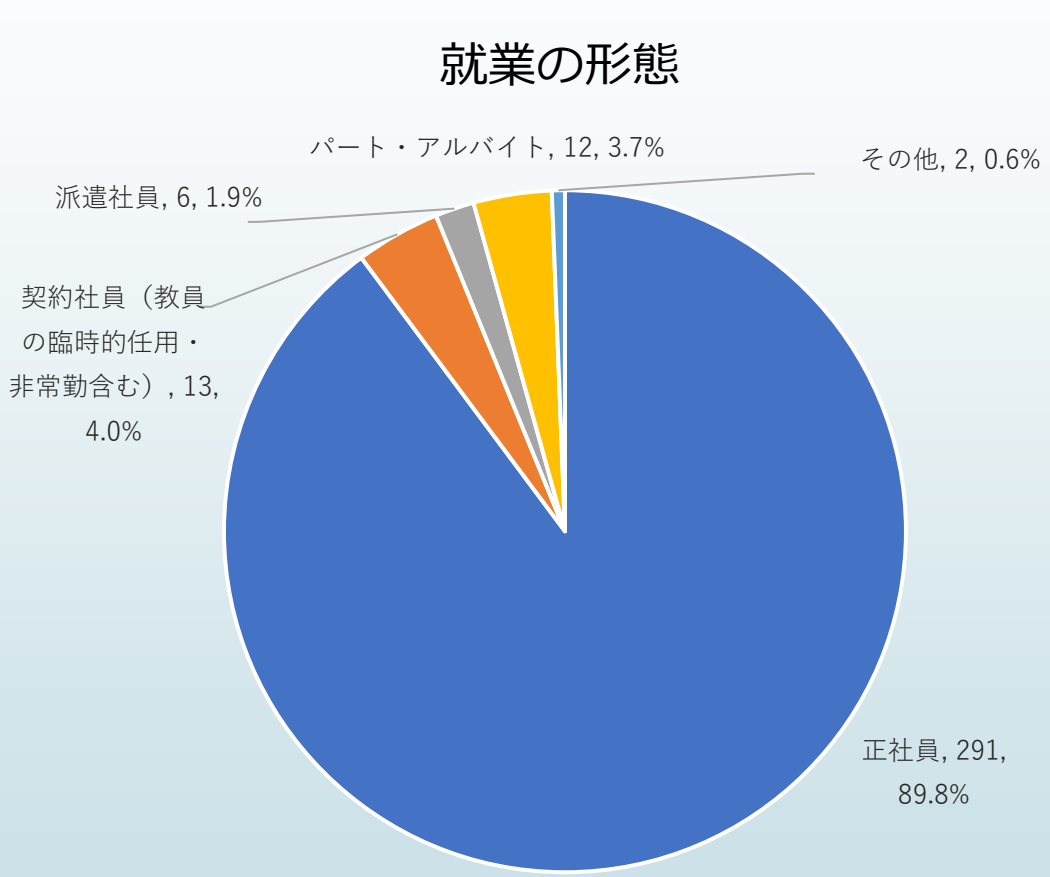
卒業年度と卒業学科


回答した卒業生の卒業年度
平成28年度（2016年度），94, 26.4%
令和2年度（2020年度），134, 37.6%
平成30年度（2018年度），128, 36.0%


回答した卒業生の卒業学科
0
10
20
30
40
50
60
70
80
90
家政保健
50
管理栄養
67
児童
80
子ども心理
22
教育
58
初等教育
71
専攻科
4
大学院
4

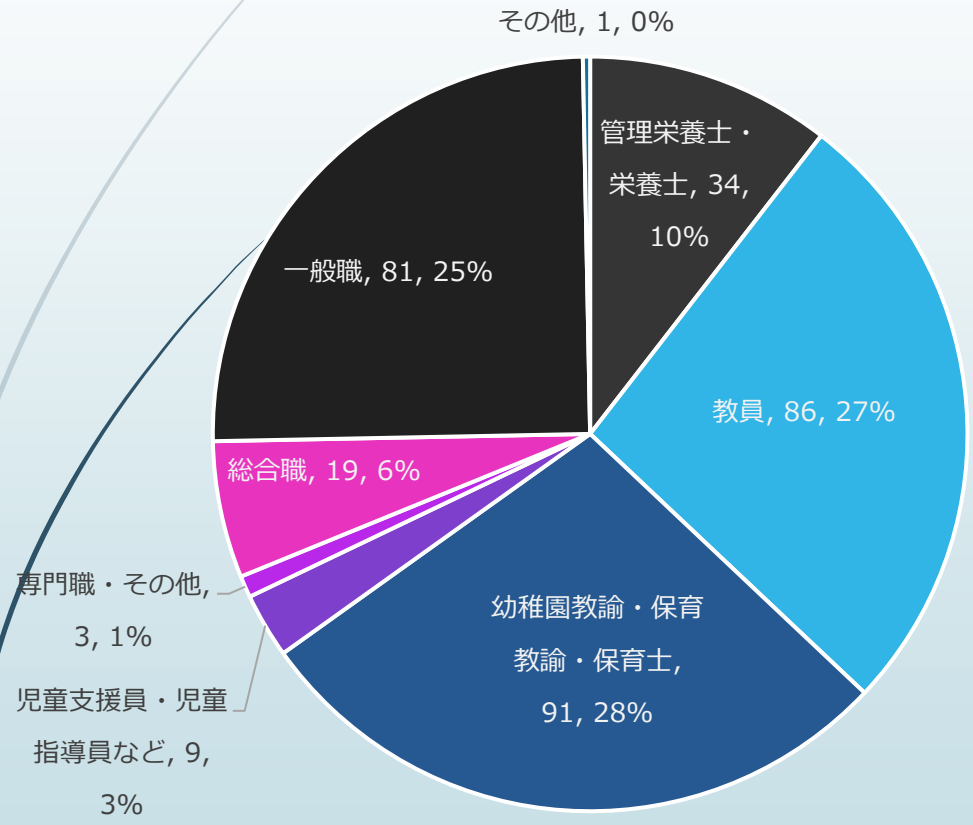
現在の就業状況


就業の有無
就業していない, 32, 9.0%
就業している, 324, 91.0%

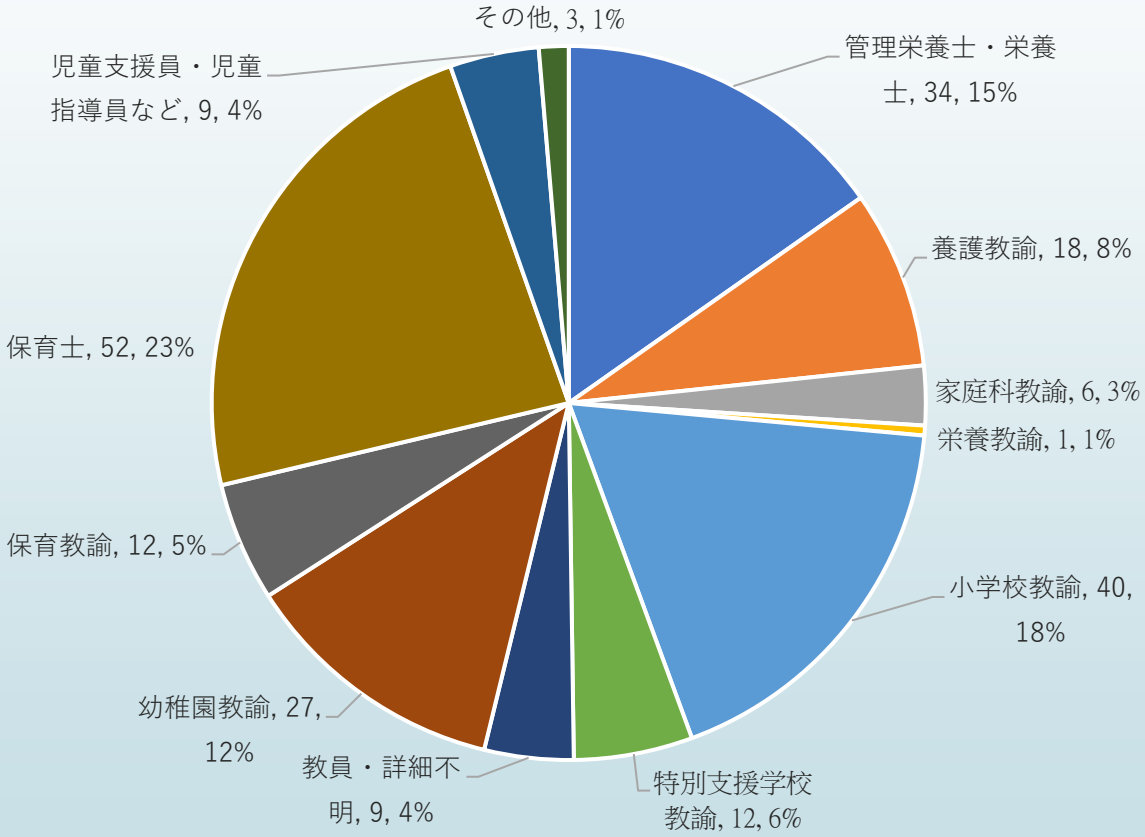

就業の形態
パート・アルバイト, 12, 3.7%
その他, 2, 0.6%
派遣社員, 6, 1.9%
契約社員（教員の臨時的任用・非常勤含む）, 13, 4.0%
正社員, 291, 89.8%

職種

職種の内訳



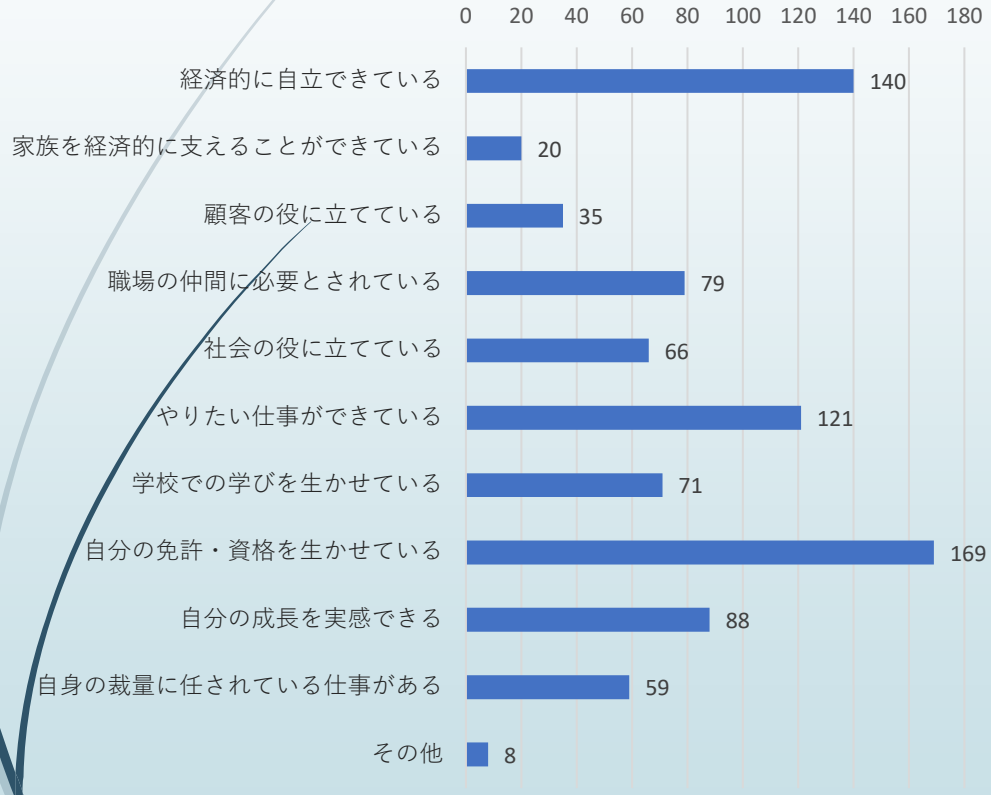
左図の専門職の内訳



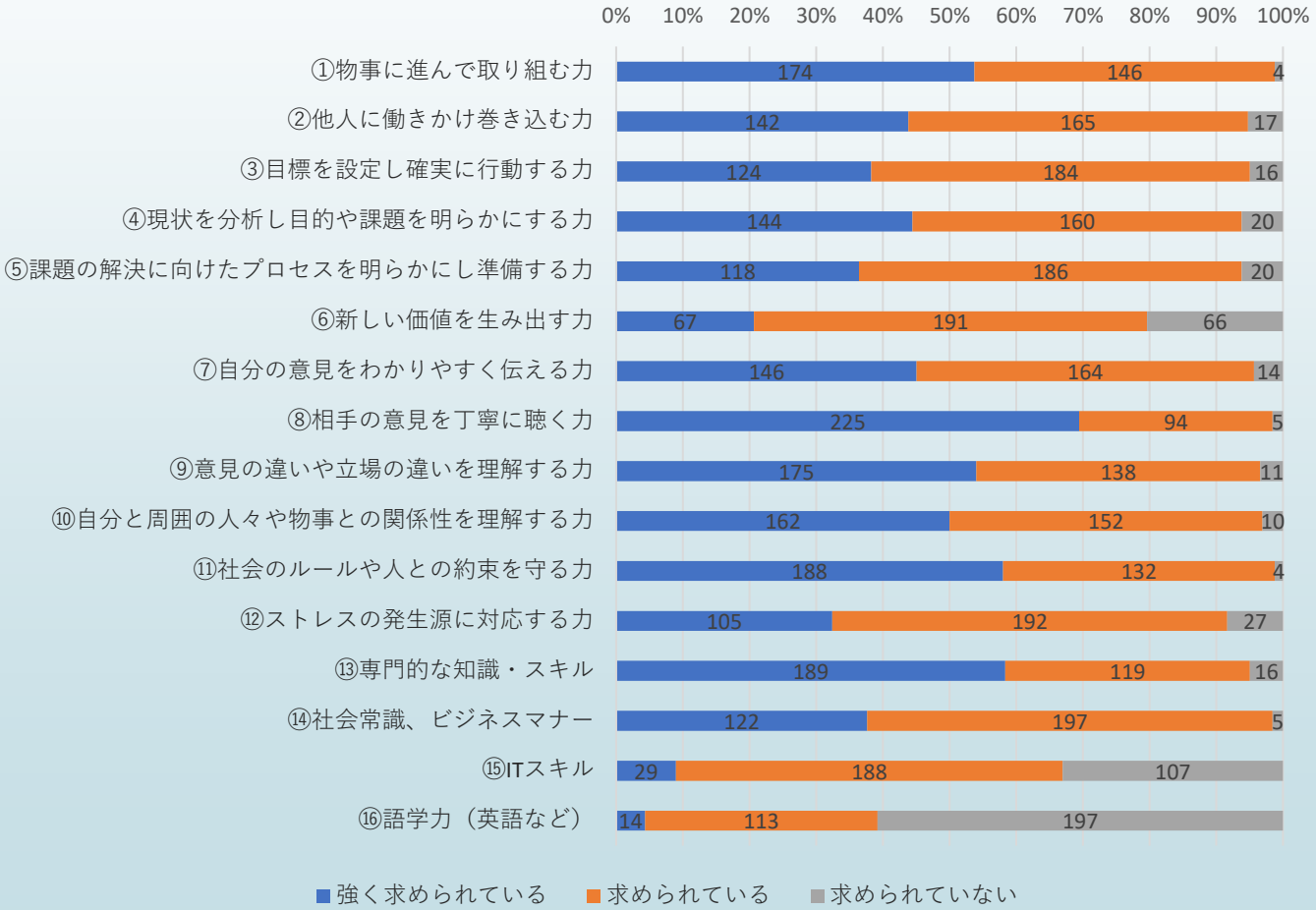
（注）専門職は、左図の「管理栄養士・栄養士」から「専門職・その他」までの職種を指す。

現在の仕事のやりがいと必要な能力

現在の仕事のやりがい

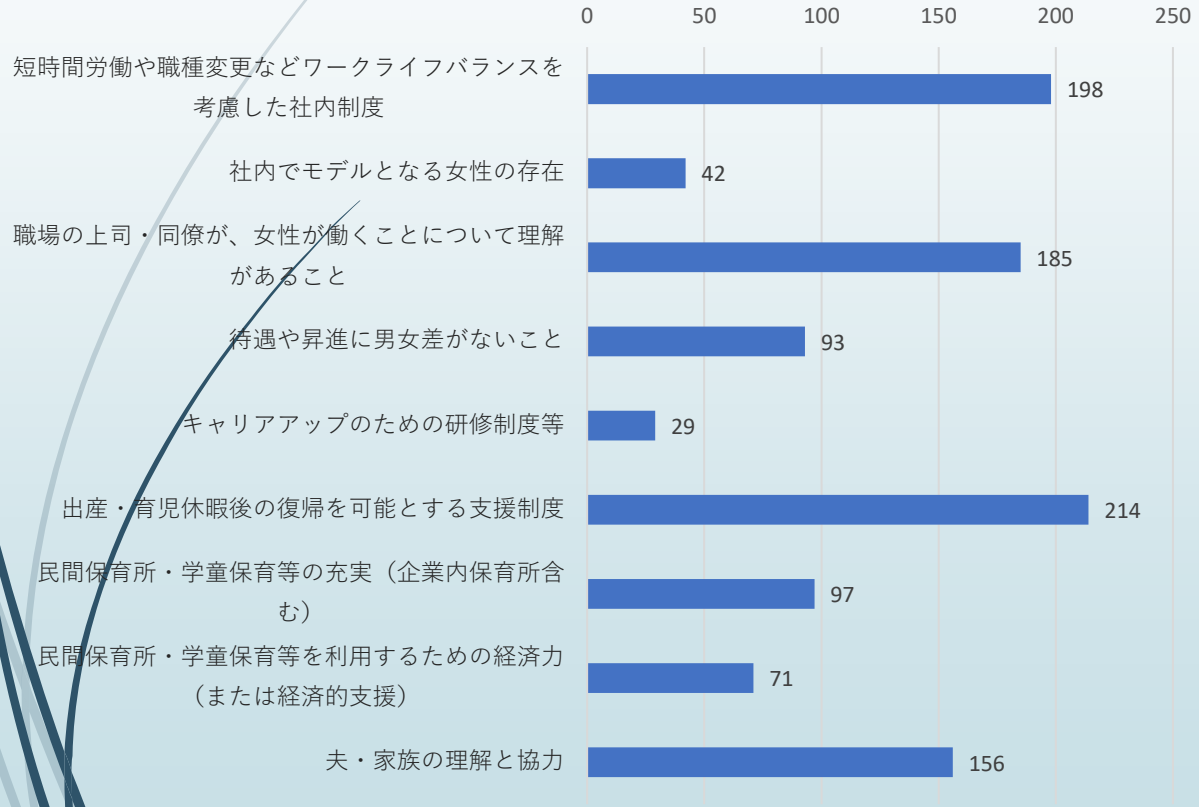


仕事に必要な能力

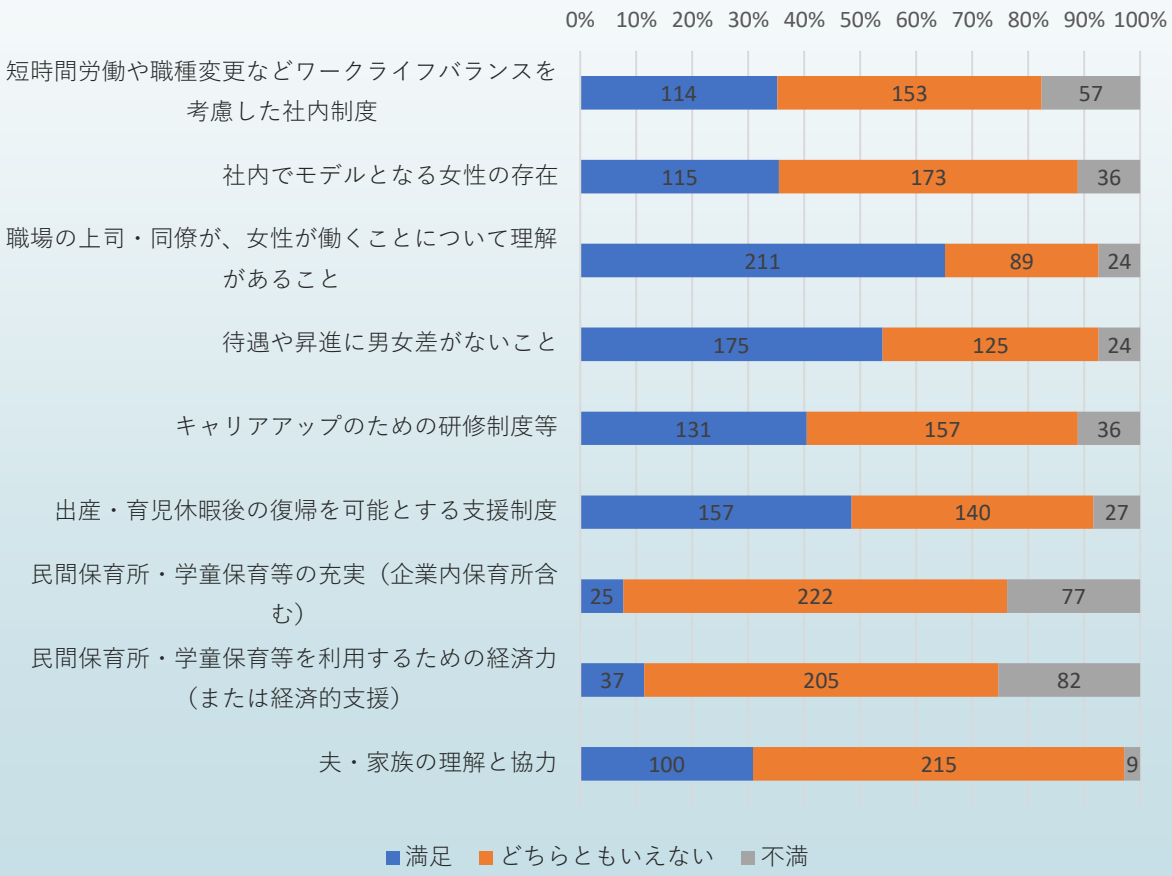


女性が働き続けるために必要なこと

必要なこと

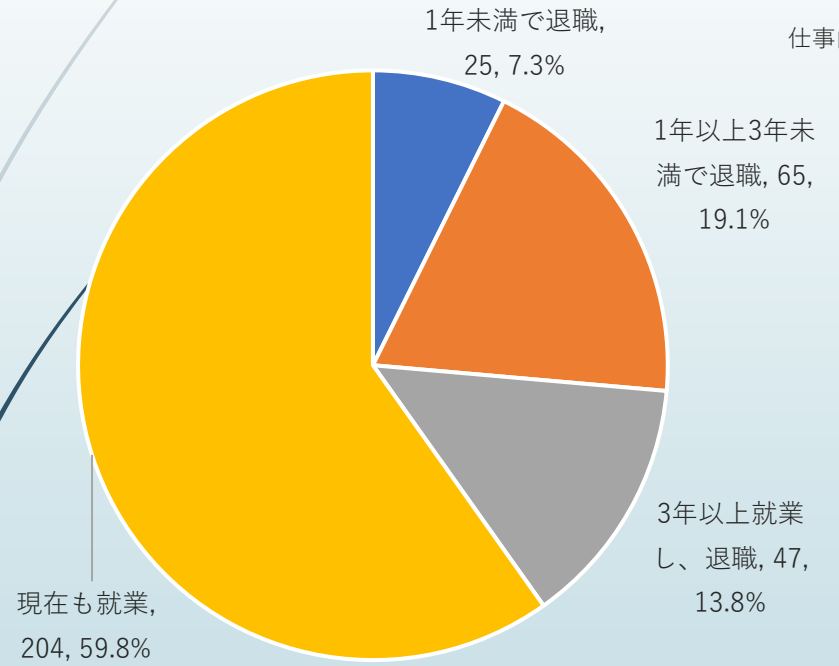


現状における満足度



新卒で就職した企業・団体を退職した時期と理由

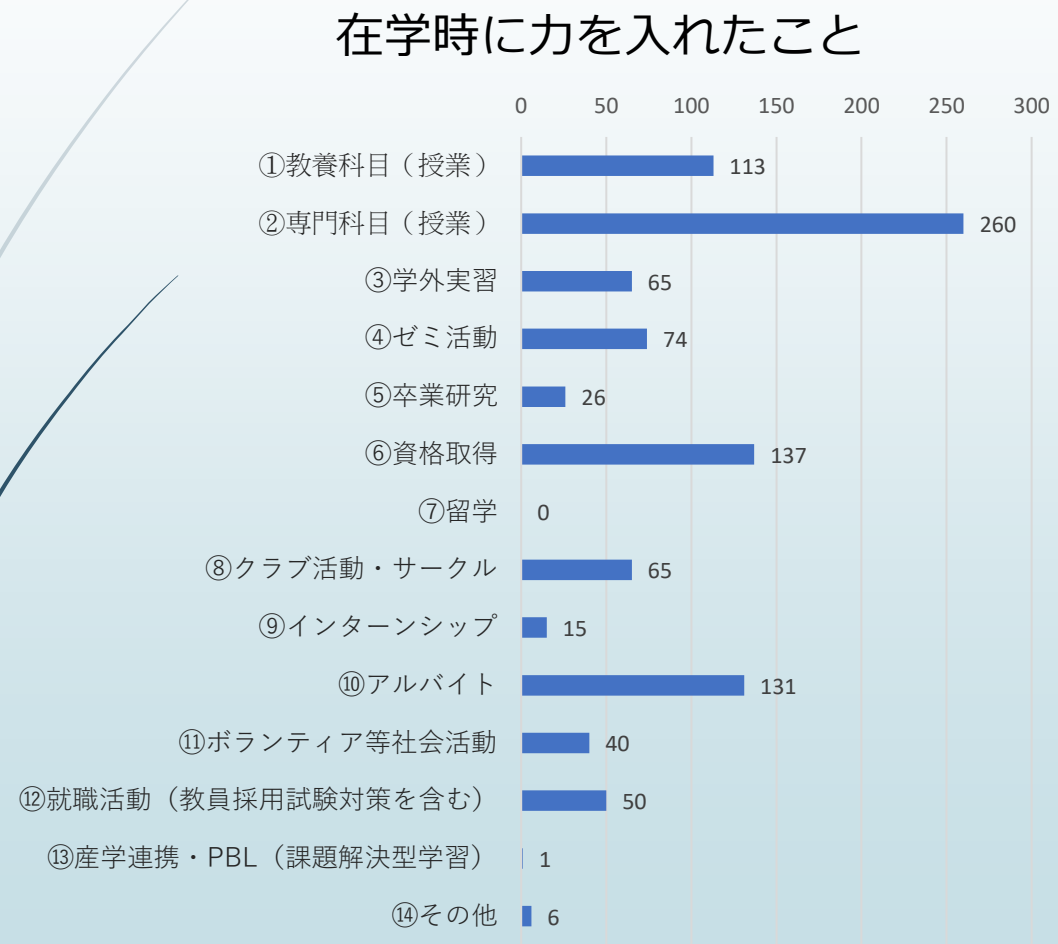
退職した時期

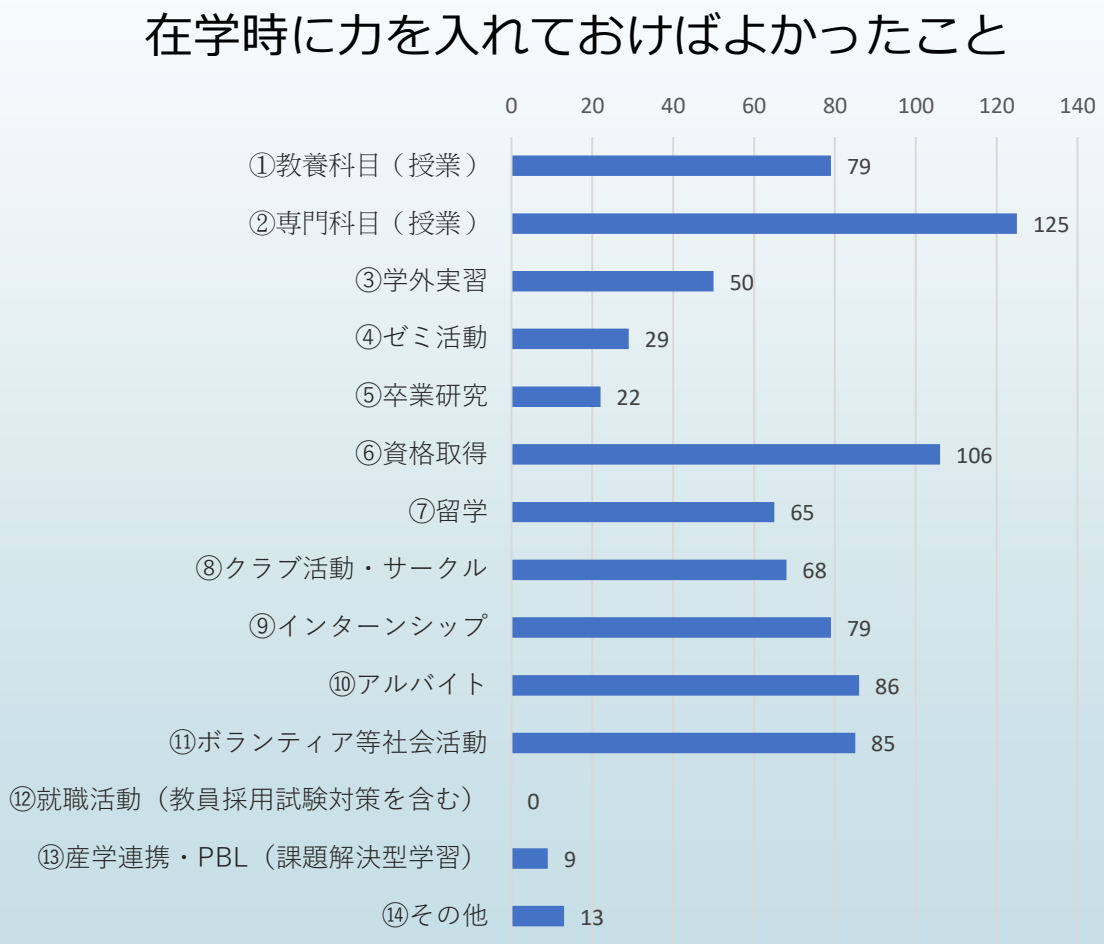


退職した理由

就職先を選ぶとき重視すること

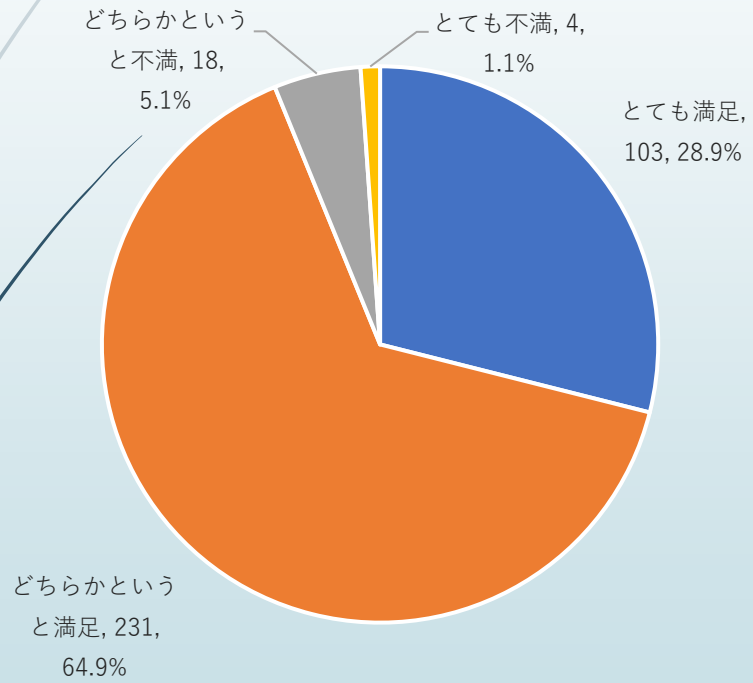
在学時に力を入れたことと入れておけばよかったこと



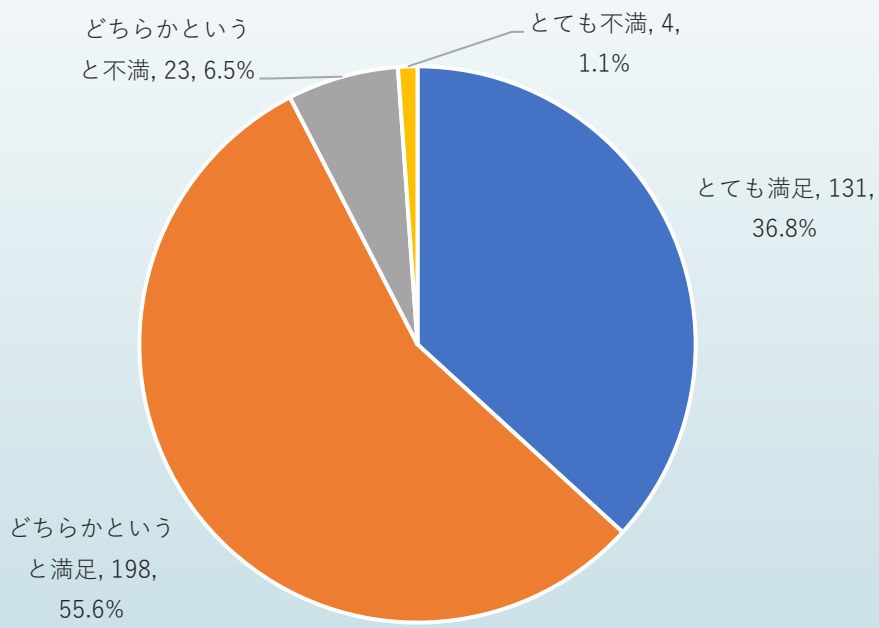


本学における学生生活についての満足度

「学び」について



「学生生活全般」について

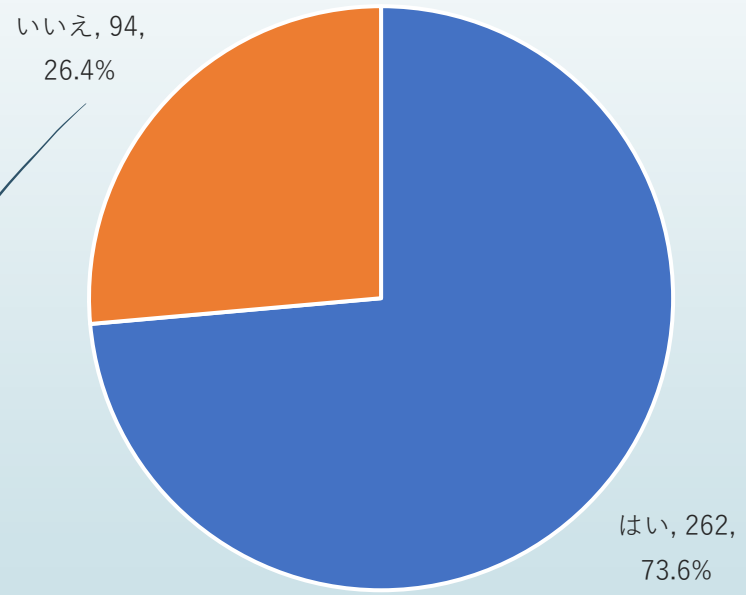


卒業生の立場で考える本学の魅力

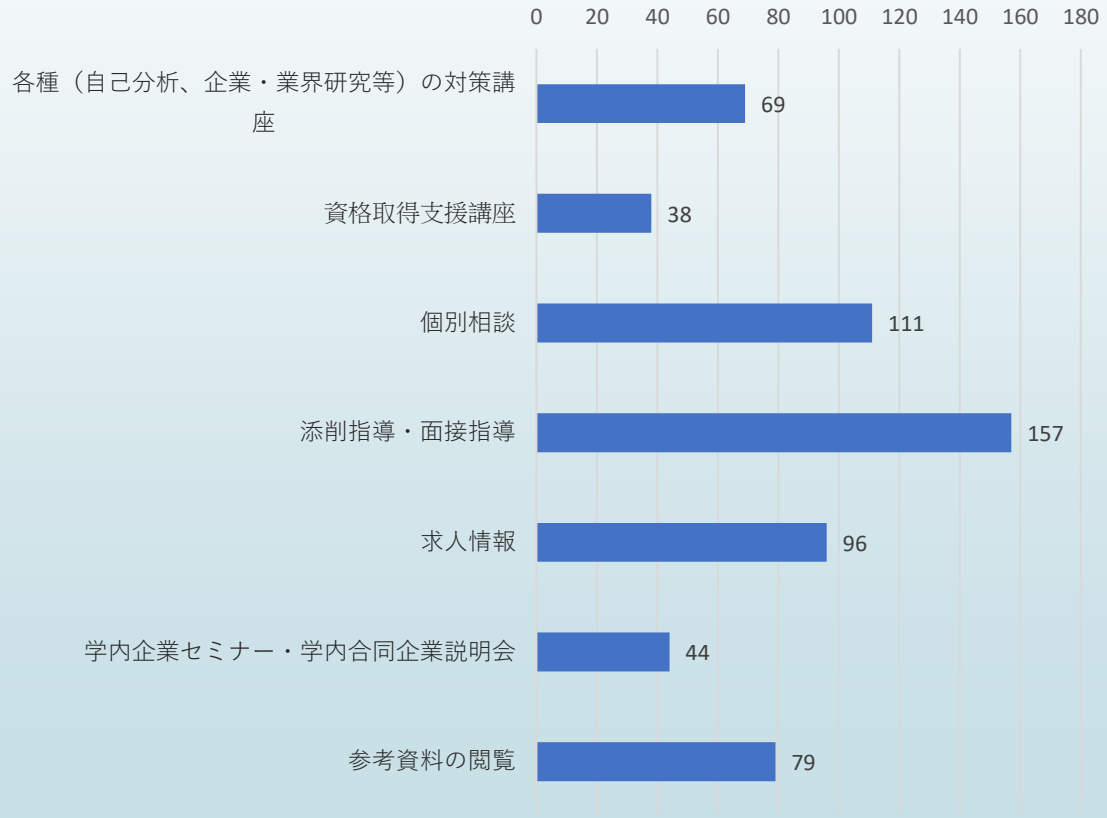
	回答		回答数
1	カリキュラムの充実	社会人としての基礎を育ててくれる/少人数授業で快適だった	88
2	施設が良い	ピアノの教室や図工室などの施設が充実/自然の中で学べる	84
3	学生の雰囲気が良い	小規模でアットホームな雰囲気が良い/大切な友人とも切磋琢磨し過ごせる	78
4	指導・支援体制が充実している	養護教諭の就職に強い/就職活動のサポートが手厚い/クラス担任がいるので、相談しやすい	71
5	資格取得に有利	国家試験に向けての模試や対策講座が多く各分野の先生がしっかりと見てくれる/複数の資格を取れる	70
6	立地・通学時間が良い	地元に密着している/駅から近い/文化的な背景の色濃い地域にある	34
7	教職員の対応が親切	教授が真剣に学生に向き合ってくれる/先生たちが親身になってくれる	33
8	大学のイメージが良い	大学の名前が知られている/保育業界で力のある大学	15
9	課外活動が充実している	横浜市のアシスタントティーチャー等の子どもと関わるボランティア	6
10	その他	ミラクルさんとみどりさんがとても好き	19
	合計		479

就職支援

在学中，就職センター／教職センターを利用していたか



利用したことのある支援サービス



就職支援(2)

就職支援で特に役立ったこと
面接指導で精神的にも支援していただいた。
公務員試験対策講座が役立った。
先輩の準備・対策が保存されていて、役立った。
アドバイスを受け、大手のインターンシップに参加できた。
教員採用試験の模擬試験練習・面接練習で的確な助言・指導をいただいた。

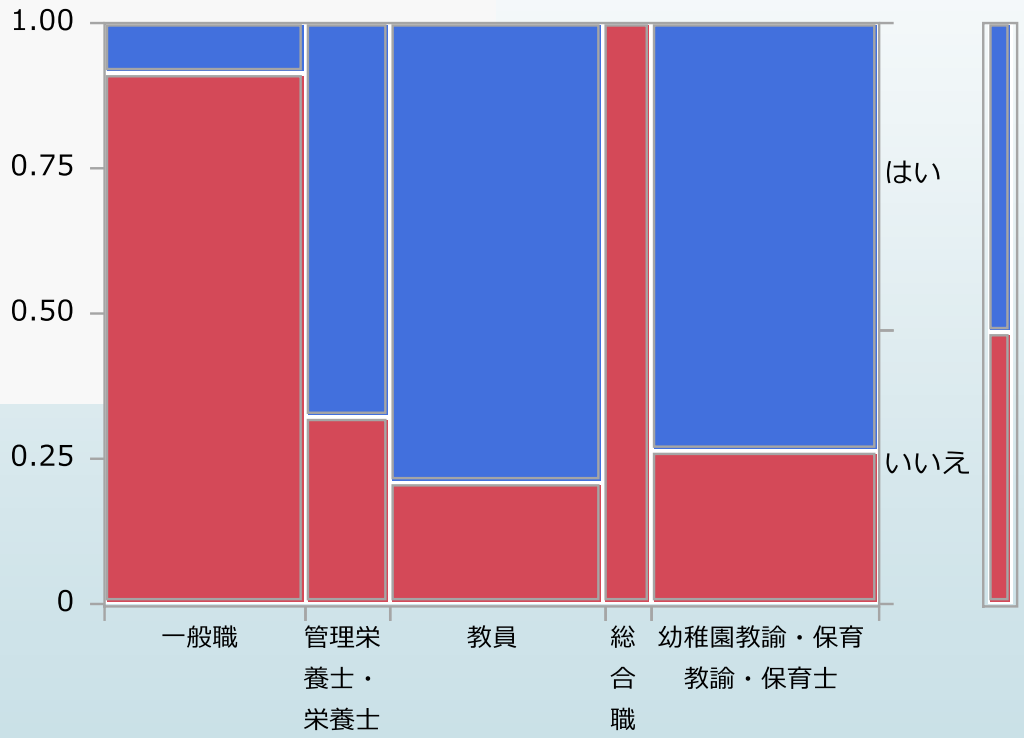
卒業生向けに提供してほしいサービス
就職先の良い点・悪い点に関する情報提供。
ハラスメントに関する（匿名の）相談サービス。
スキルアップのための資格・スキル講座。
卒業生向けの就職フェア。
卒業生が講演する在学生向けのイベント。

アンケート回答のクロス集計による分析

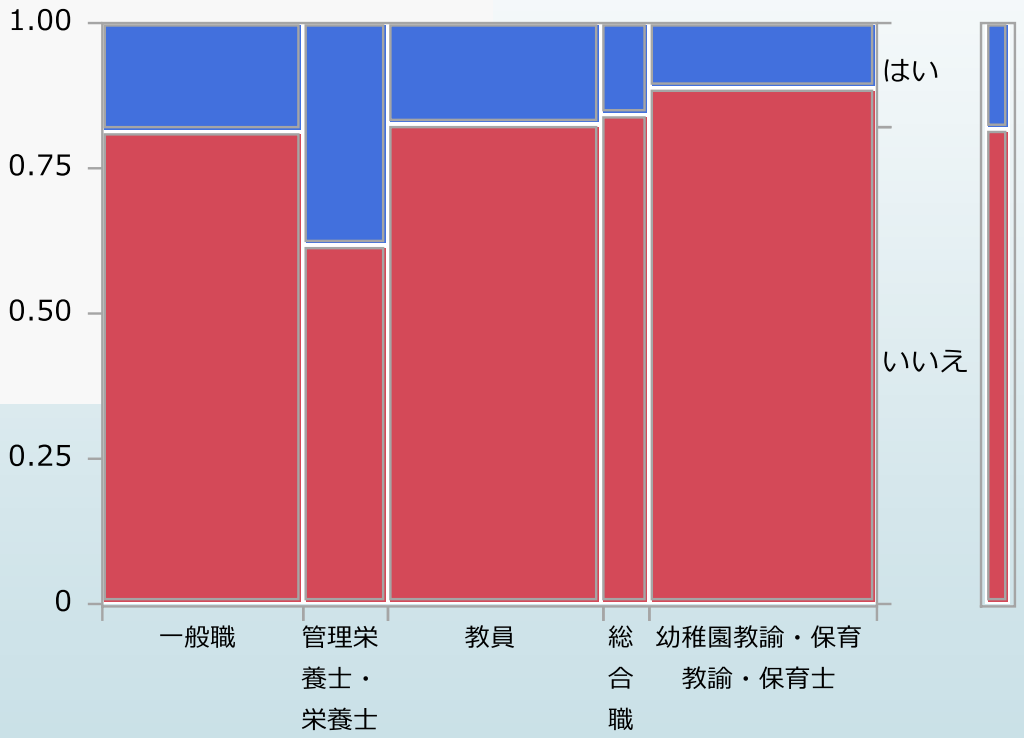
- 卒業生の属性を表す項目は、卒業年度、卒業学科、現在就業している業種、勤務先の規模、職種などがあるが、多くの回答項目で、職種による差が見られた。
  - ここにおける「職種」は、本報告の職種に関する記述（スライド6枚目）の左図の分類による。ただし、「児童支援員・児童指導員など」、「専門職・その他」、「その他」は、カウント数が少ないので、統計分析の都合で、クロス集計では除いた。
- 以下では、回答項目で、職種による差が有意であったもののうち、就職支援・キャリア形成支援のあり方を考えるうえで、参考になりそうなクロス集計結果を、モザイク図の形で示す。横軸は、職種を示している。

現在の仕事のやりがいと職種

「自分の免許・資格を生かせている」

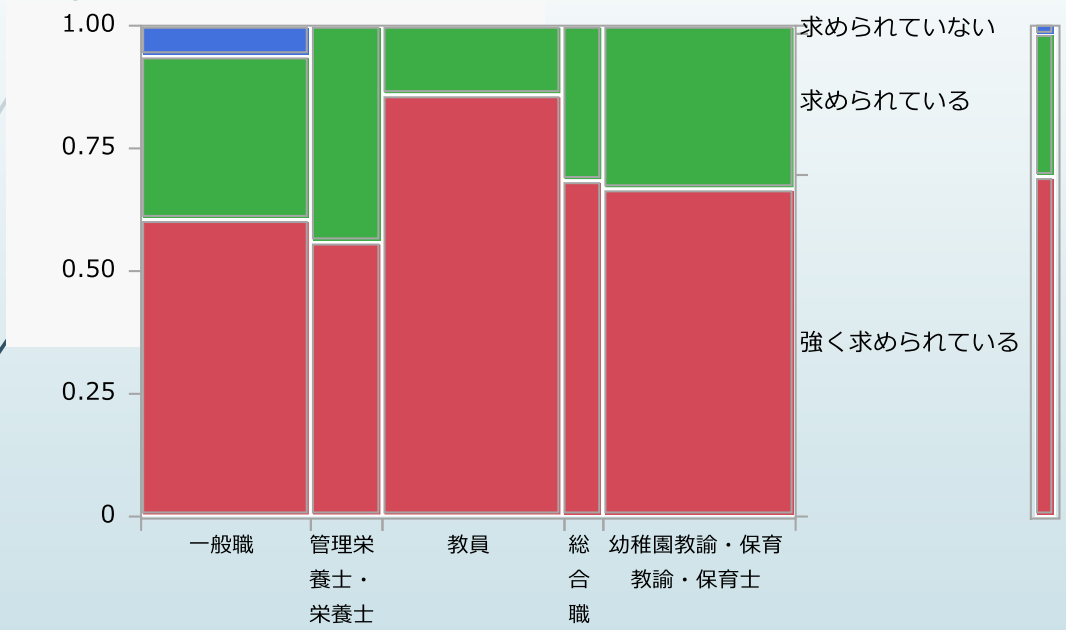


「自分の裁量に任されている仕事がある」

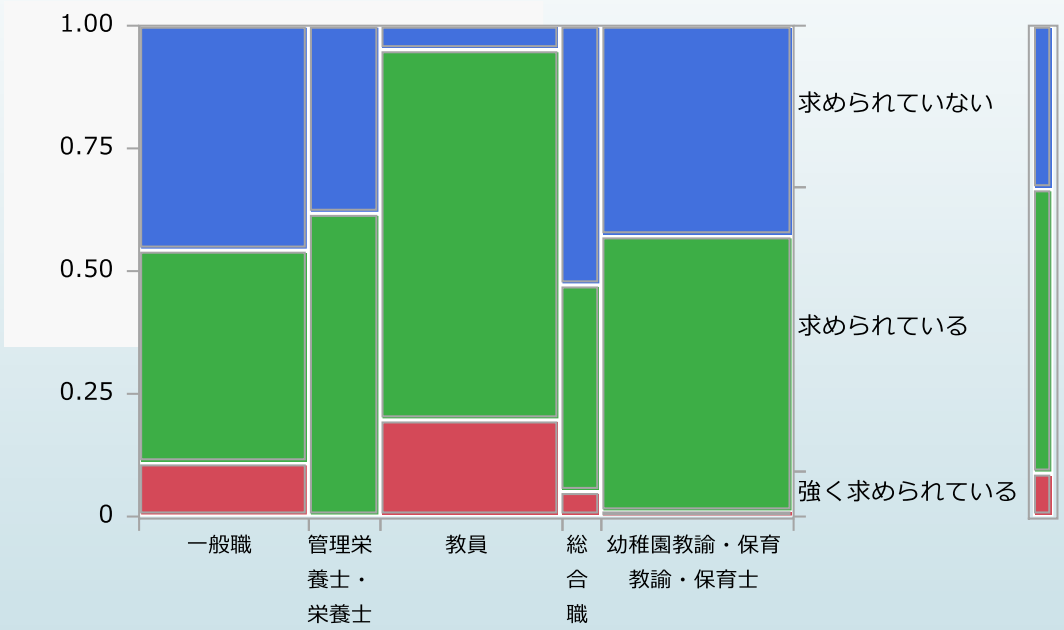


現在の仕事に必要な能力と職種

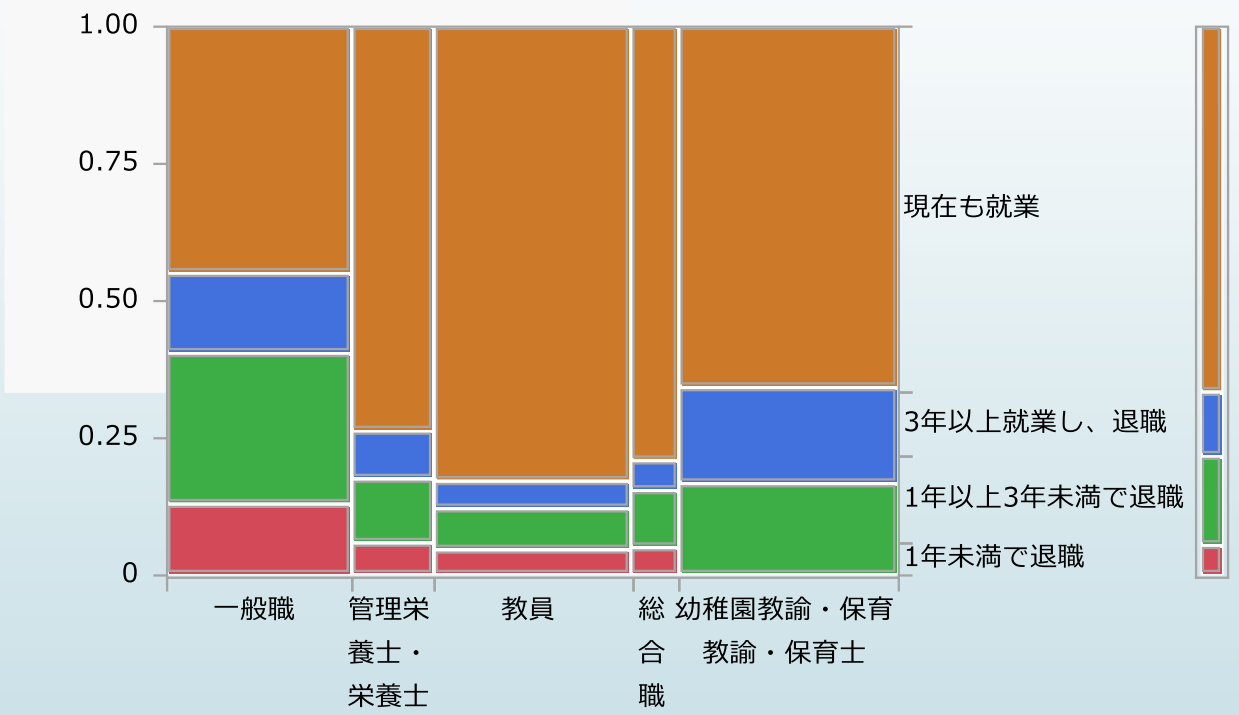
「相手の意見を丁寧に聞く力」



「ITスキル」

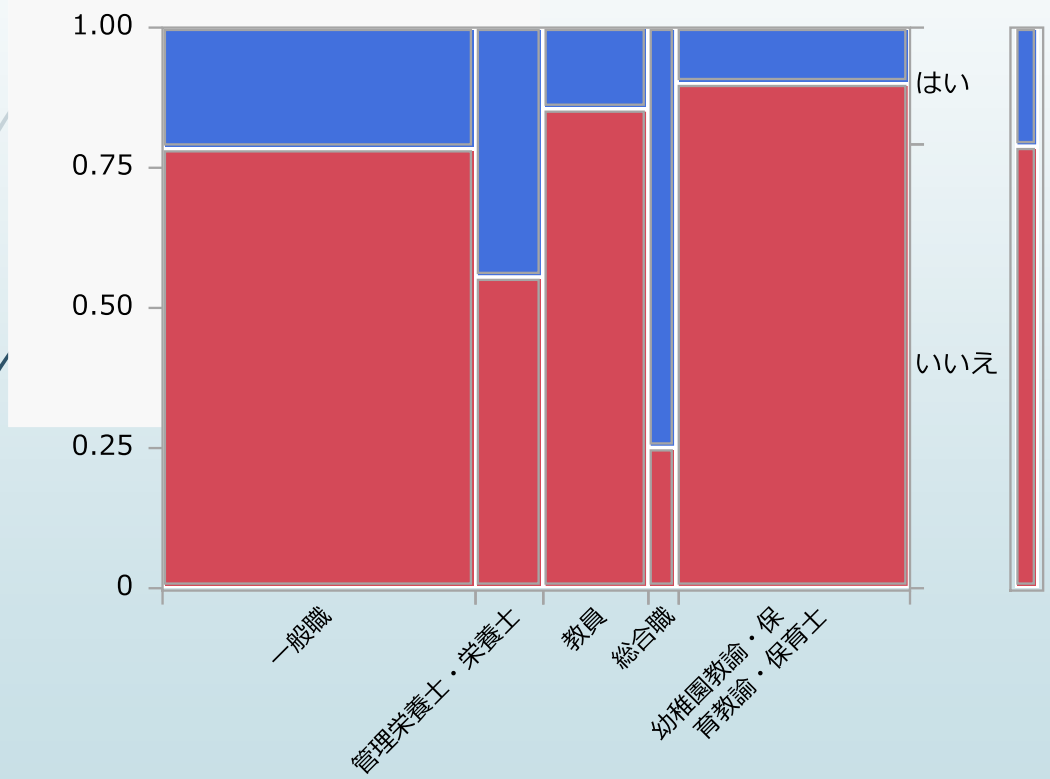


新卒で就職した企業・団体の在職年数と職種

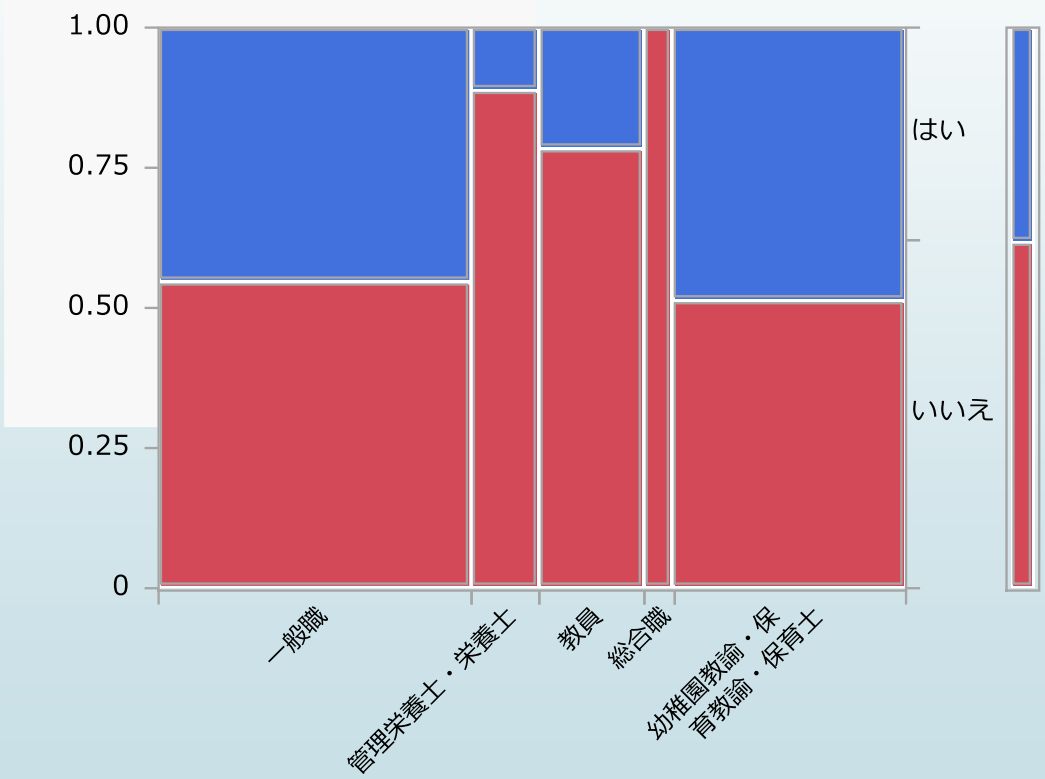


新卒で就職した企業・団体の退職理由と職種

「自分の成長やキャリアアップが望めない」

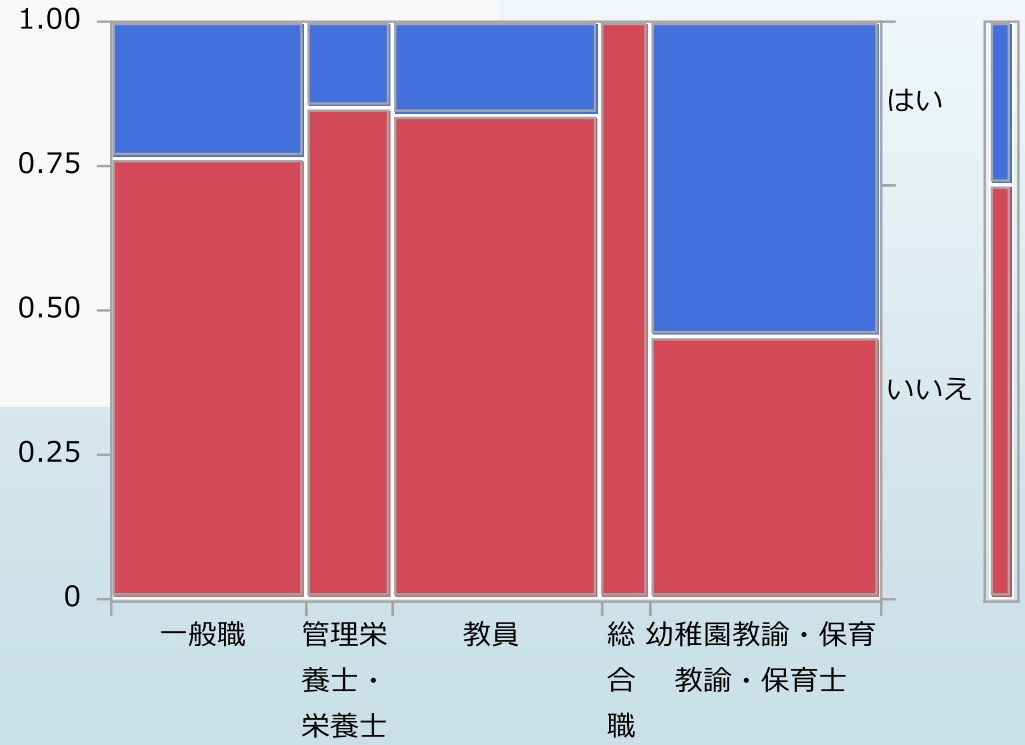


「職場の人間関係が悪い」

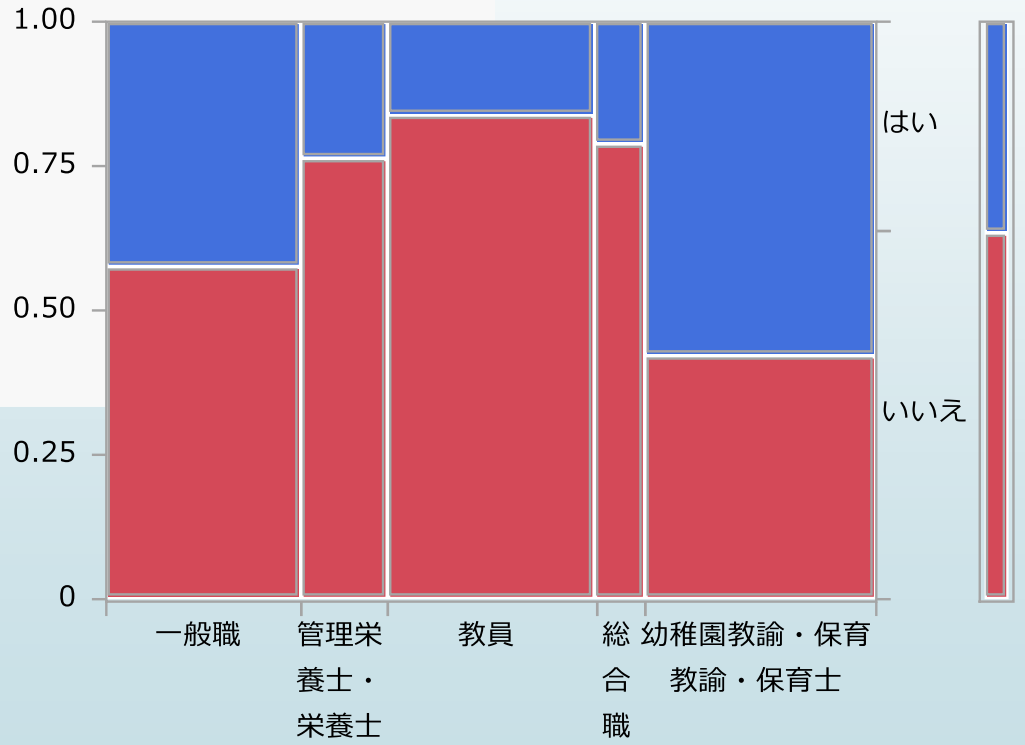


在学中の就職活動で就職先を選ぶとき、重視したことと職種

「通勤がしやすい」

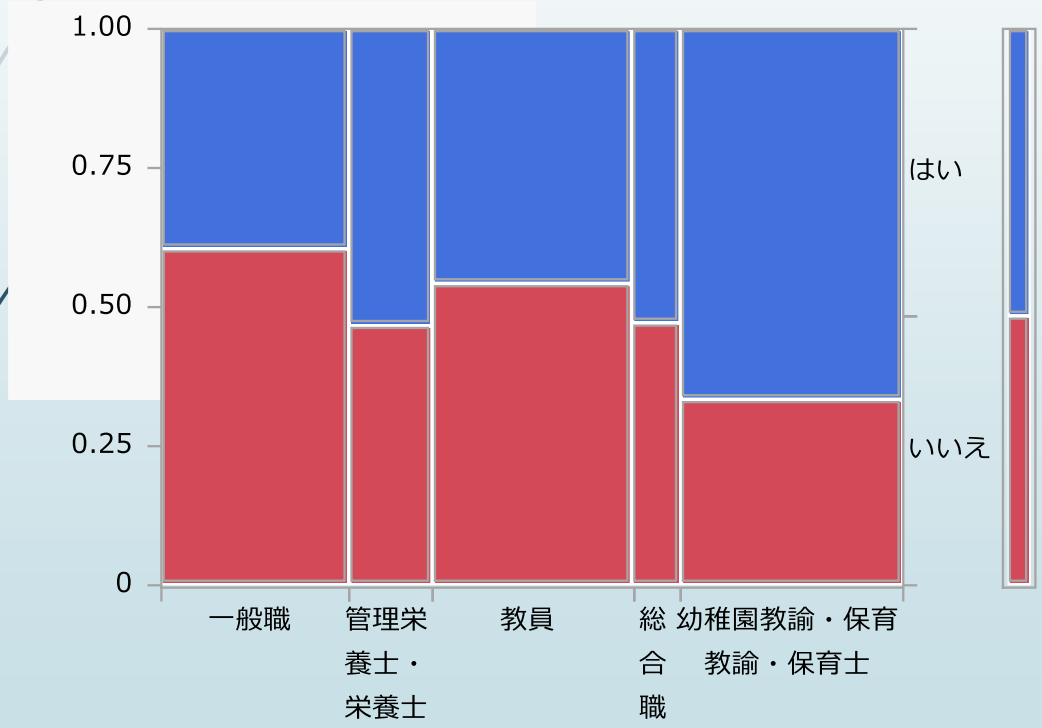


「職場の雰囲気（社風）」

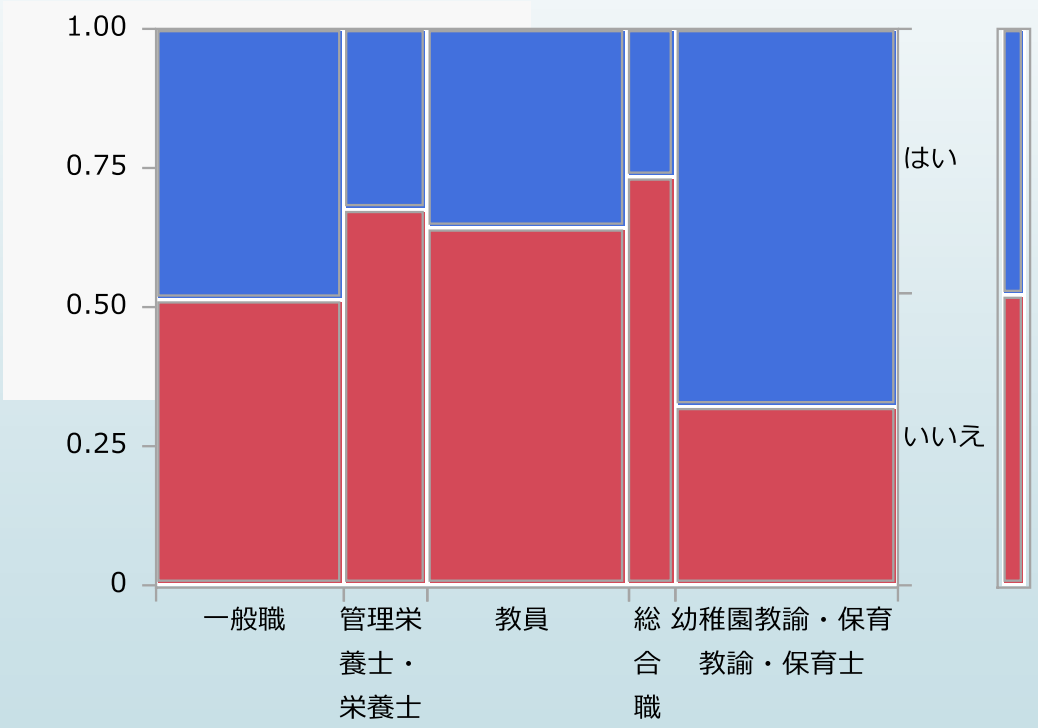


現在、もし就職活動や転職活動をするとしたら、重視したいことと職種（１）

「給料の高さ」

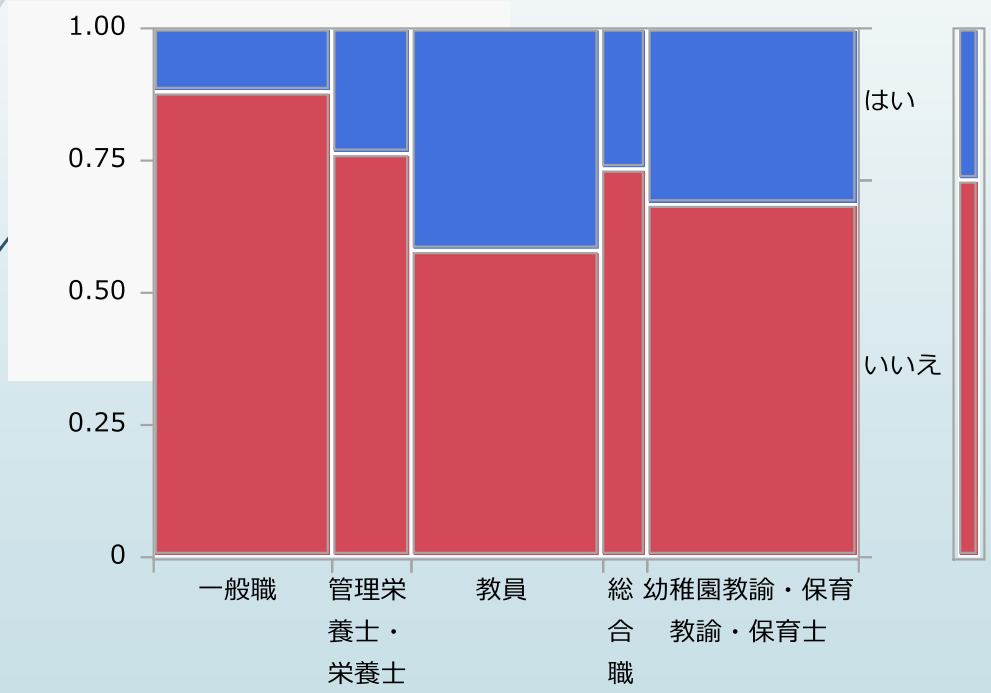


「職場の雰囲気（社風）」



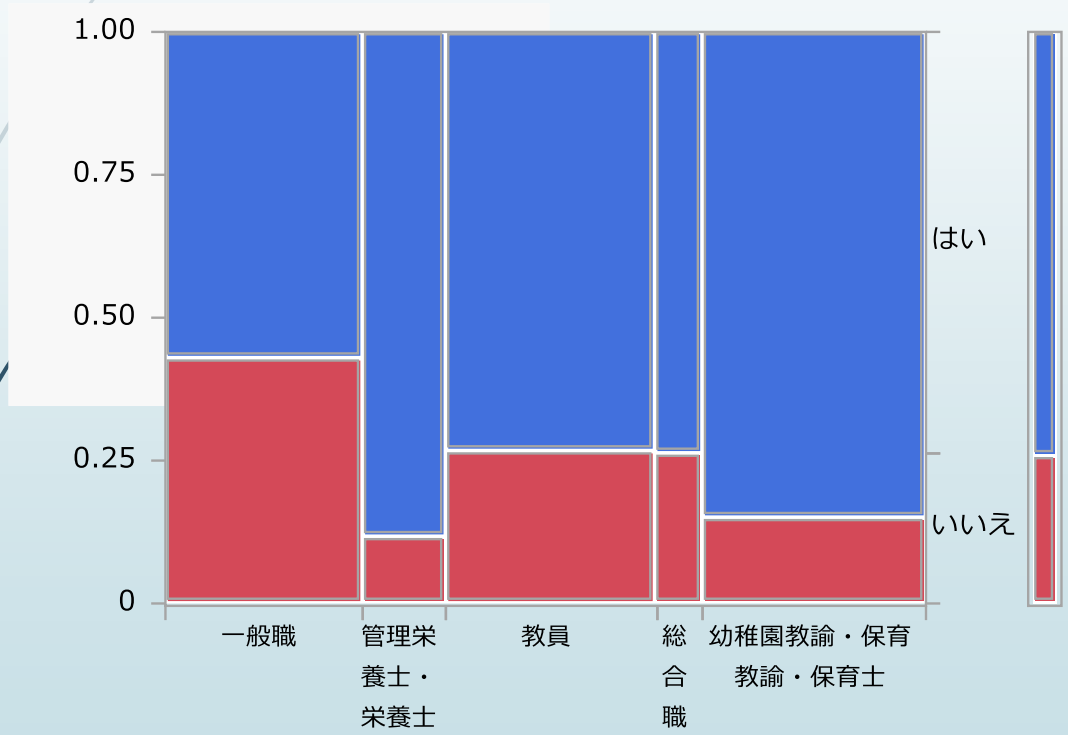
現在、もし就職活動や転職活動をするとしたら、重視したいことと職種（２）

「残業時間の少なさ」

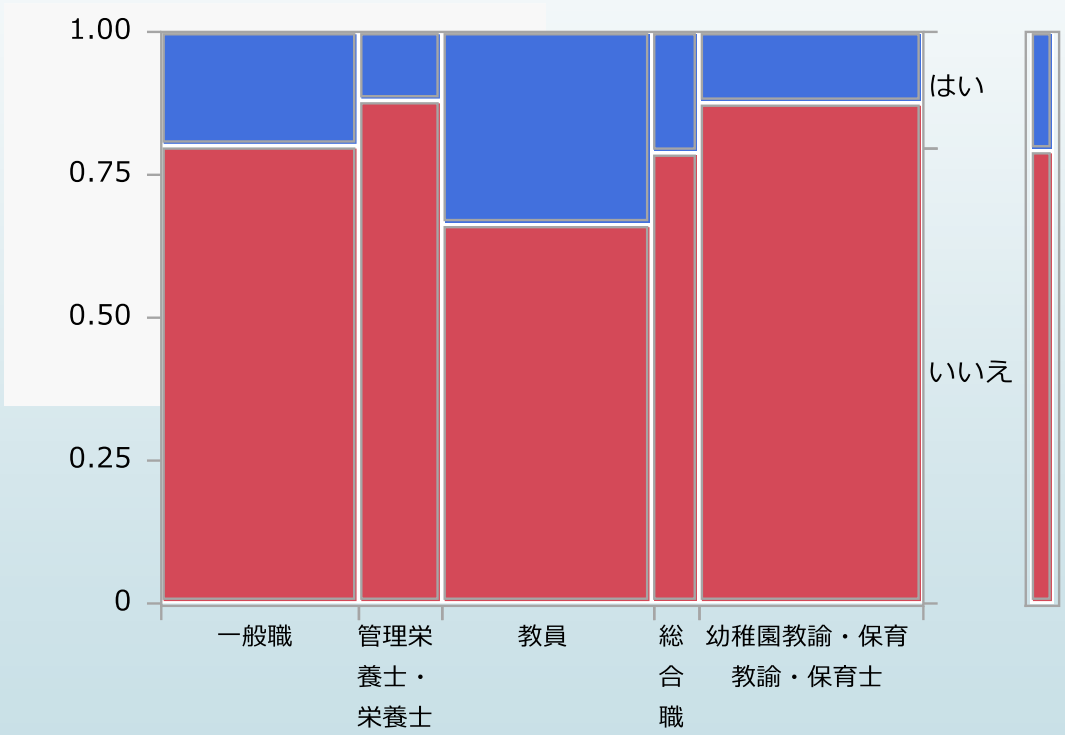


在学中、特に力を入れたことと職種（１）

「専門科目（授業）」

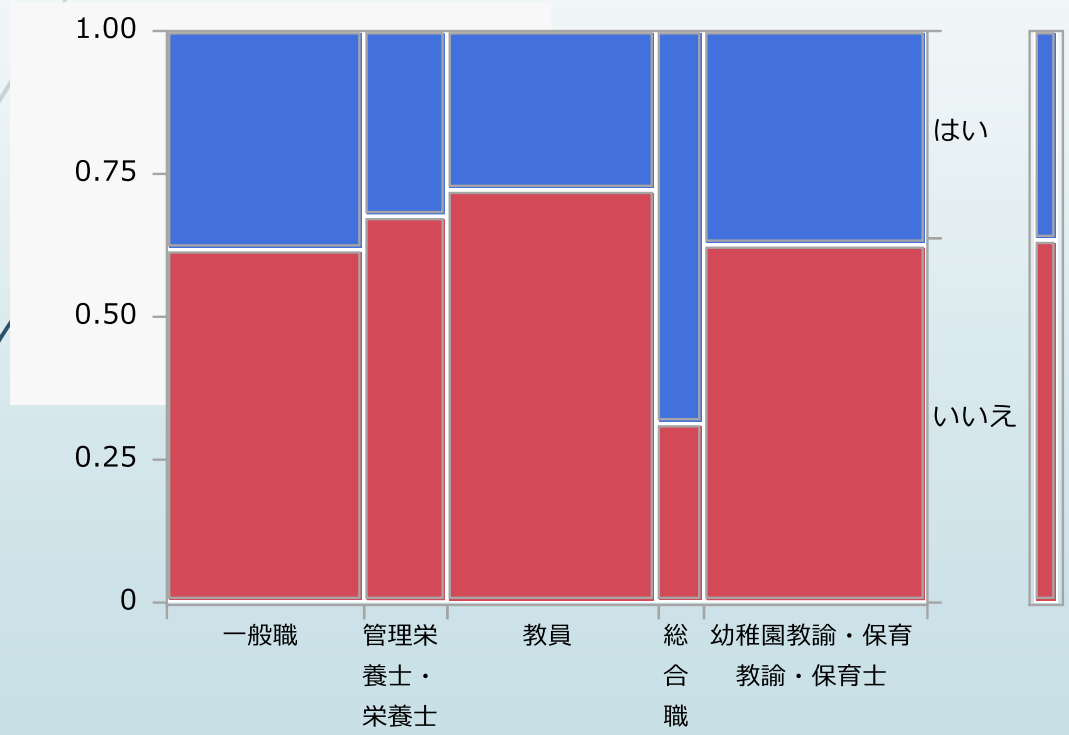


「ゼミ活動」

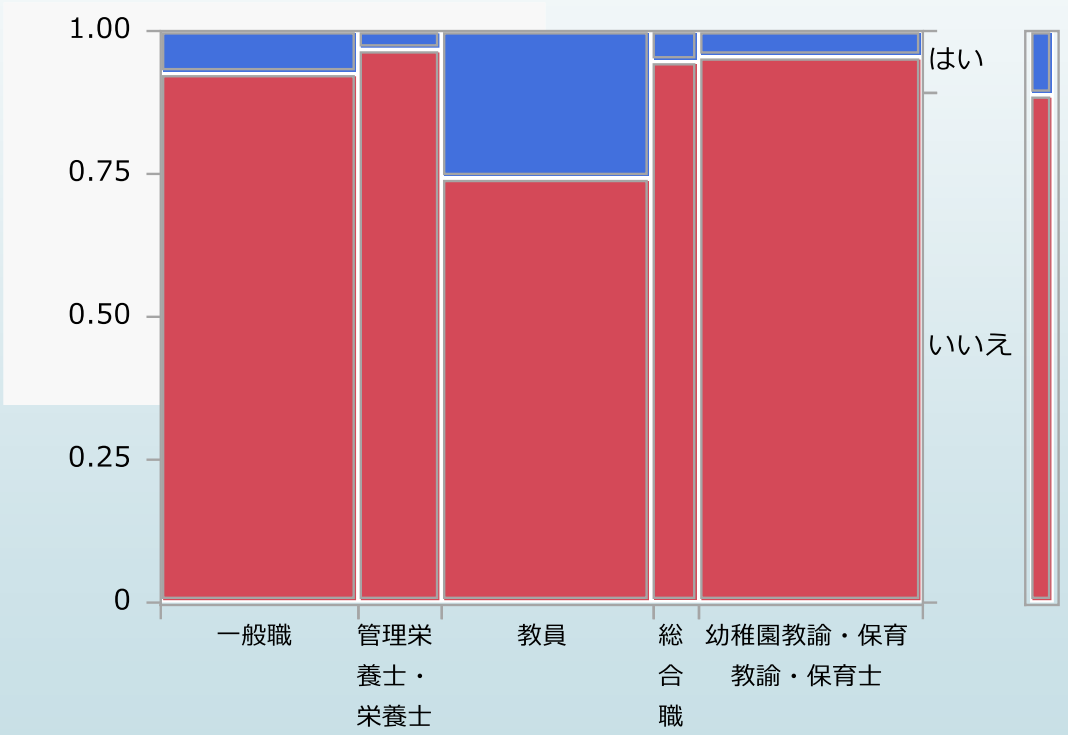


在学中、特に力を入れたことと職種（２）

「アルバイト」

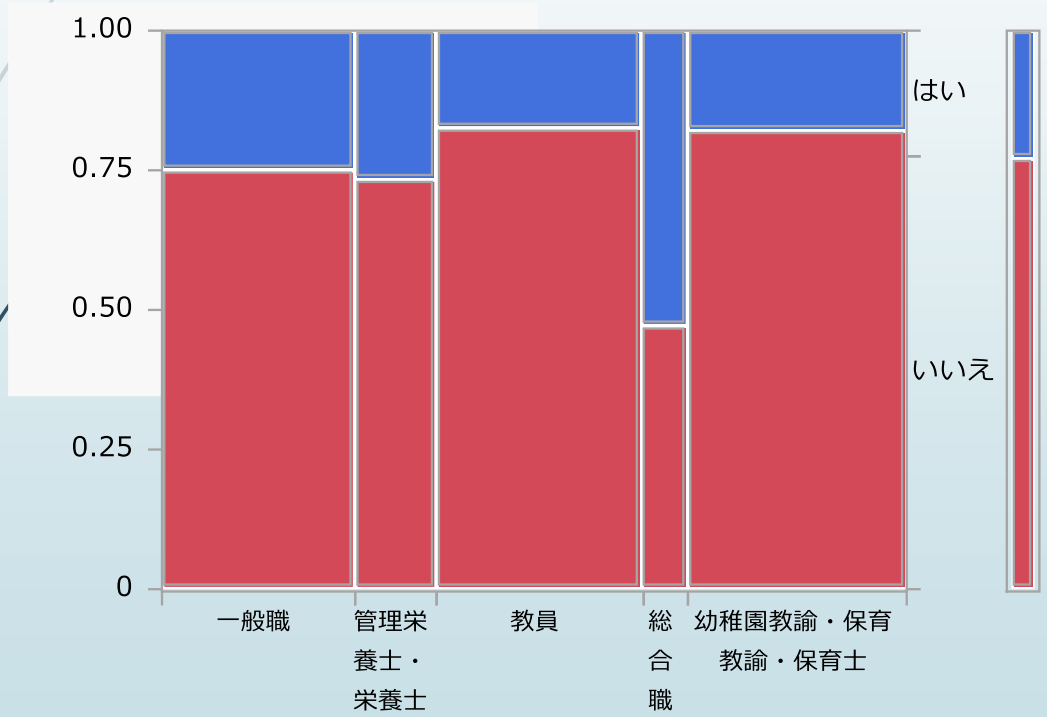


「ボランティア等社会活動」

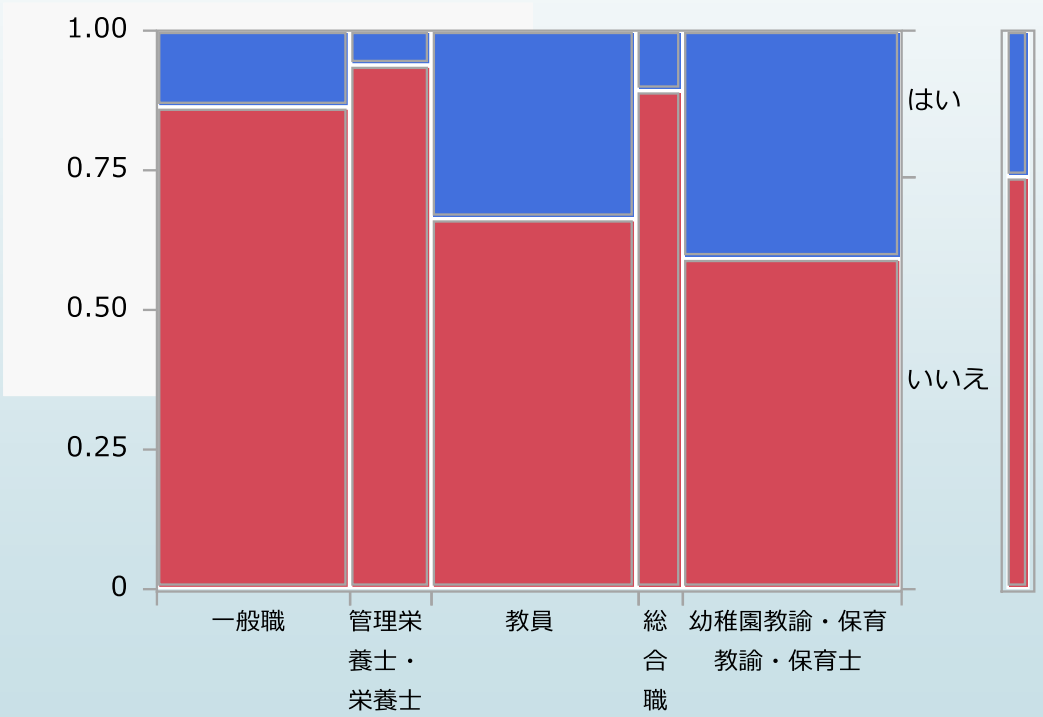


現在から見て、在学中に力を入れておけばよかったことと職種

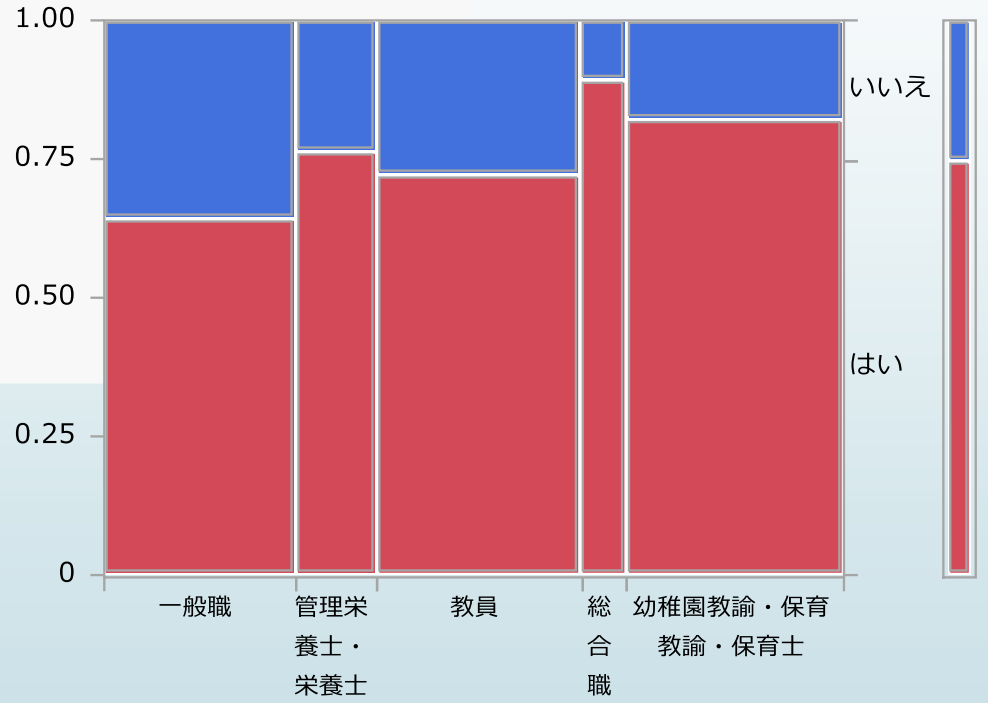
「インターンシップ」



「ボランティア等社会活動」

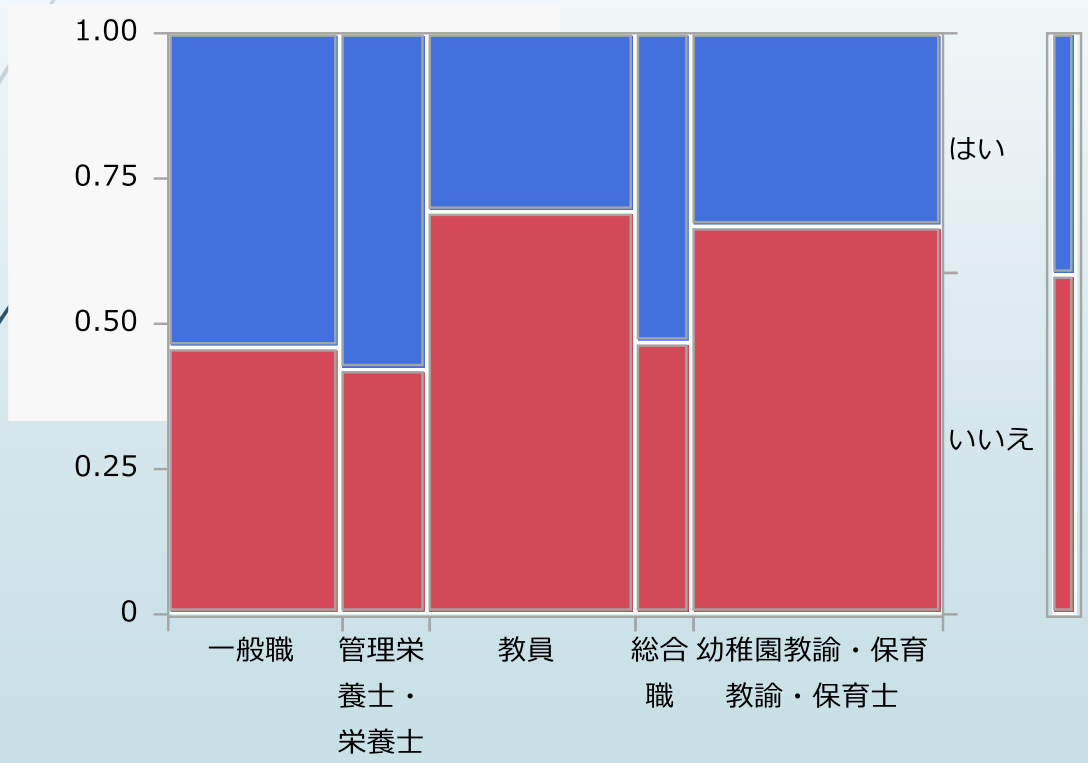


在学中の就職支援部署の利用と職種

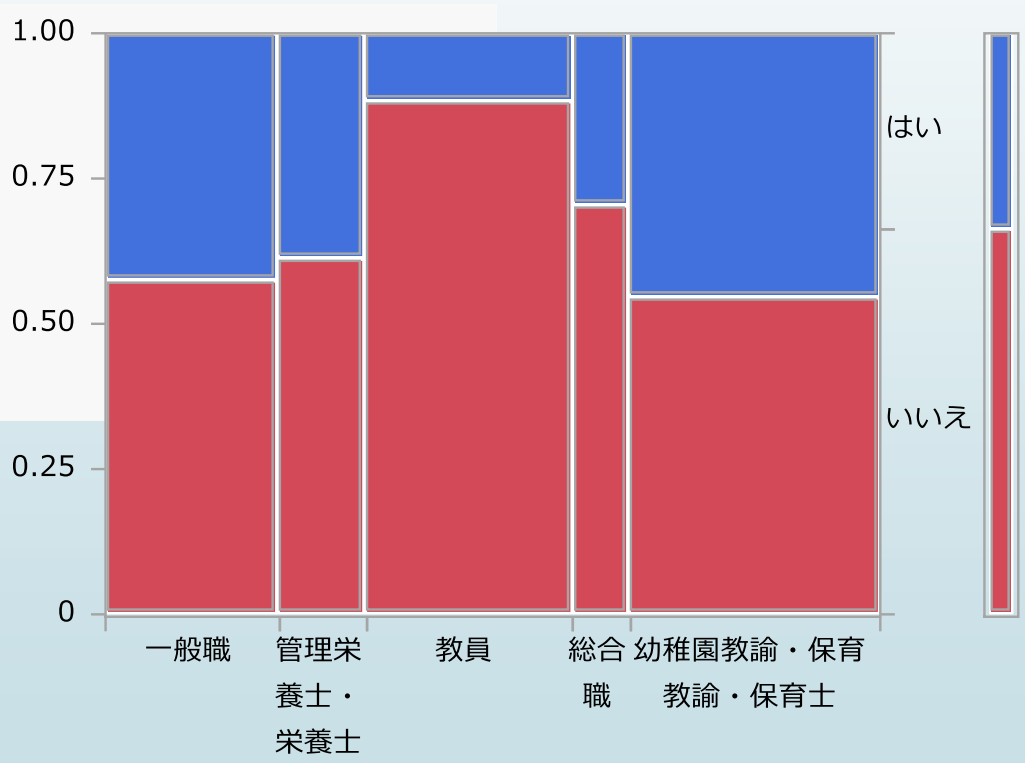


在学中の就職支援部署で利用したことのあるサービスと職種（１）

「個別相談」

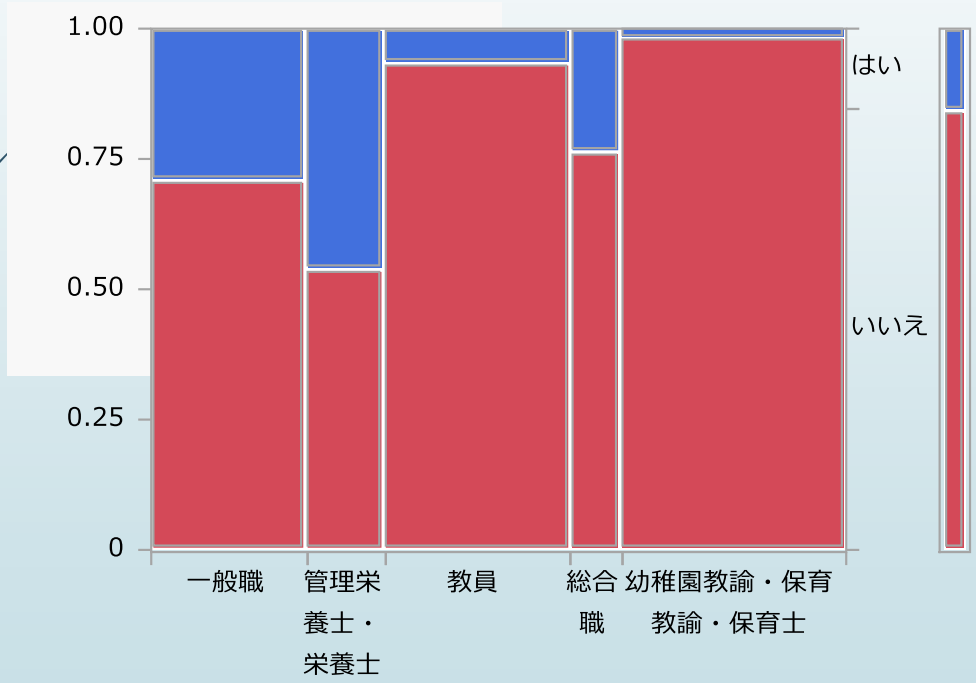


「求人情報」



在学中の就職支援部署で利用したことのあるサービスと職種（２）

「学内企業セミナー・
学内合同企業説明会」



最後に

- 今回の調査にご協力くださった卒業生の皆さまに、深く御礼申し上げます。いただいたご意見は、今後の教育内容や支援体制の充実に活かしてまいります。